

「令和元年 第47回 練馬区軟式少年野球連盟・新人戦大会」

競技上及び審判上の注意事項

1. **先攻後攻**は、両チームの主将がジャンケンで決め、ベンチは抽選番号が若いチームが一塁側とする。
 ※但し、決勝戦は、先攻後攻は両チームの主将がジャンケンで決め、ベンチは先攻が三塁側、後攻が一塁側とする。
2. **チームの集合**は、試合開始予定時間30分前とし、大会本部へ選手登録名簿（原本）とメンバー表4枚（直筆1枚[本部用]、と複写3枚[球審及び対戦チーム、自チーム用]）を提出する。開始予定時間に集合しないチームは、不戦敗とする。（登録選手が9名に満たない場合も同様である。）
 ※二試合目以降の場合、前試合の本部で受取をし、先攻後攻はその時点で決める、
 （メンバー表のチェックは当該試合本部で行う）
3. **シートノック**は行わない。
 ・前試合一時間経過後から、バッテリー一組とコーチ一名でピッチング練習を可能とする。
 （場所については、審判員の指示に従う。総合グラウンドの場合はC面。）
 ・前試合終了後、15分後を目処に当該試合を開始する。（その間にアップ、キャッチボールをする）
 ※但し、決勝戦は、シートノックを後攻チームから5分行う。
4. **準備投球**
 初回に限り1分を限度として5球以内、次回からは3球以内とする。
5. **イニング**
 試合は5イニングとし、1時間30分を越えて新しいイニングに入らない。
 ※但し、準決勝戦は、・7イニングとし、1時間45分を終えて新しいイニングに入らない。
 決勝戦は、・7イニングとし、イニング数を優先し、時間制限はしない。・同点の場合は、2イニング延長とする。
6. **特別延長戦**
 試合終了時点で同点の場合は、特別延長戦で勝敗を決する。再び同点の場合は、最大3回まで繰り返す。
 なおかつ勝敗が決しない場合は、両チームの最終メンバーによる抽選で決する。
 ※但し、決勝戦で2イニング延長が行われた場合も最大3回までとする。
 【特別延長戦】無死満塁、継続打順で行う。
7. **コールドゲーム**
 得点差によるコールドゲームは、3回終了以降8点差とし、降雨・日没は、4回終了で成立とする。
 ※但し、決勝戦は得点差によるコールドゲームは適用しない。また、ノーゲームとなった時は再試合とする。
8. 背番号は選手0～20番（主将は10番）、監督30番、コーチ29、28番に統一する。登録はすべて男女を問わず、選手登録は10名以上20名以内とする。
9. 試合中にベンチに入れる大人は、監督・コーチ2名・スコアラーの計4名以内とする。
10. 服装については、監督・コーチ・選手は統一のユニフォームを着用する。代表者・スコアラーは私服とし、必ずチーム統一の帽子を着用すること。
11. 抗議のできるものは、監督と当該プレーヤーとし、グラウンド内での指示は監督が行う。
12. 打者・走者・次打者・ベースコーチは、両側にイヤーフラップのついたヘルメットを着用すること。
13. 捕手のマスク及び金属・ハイコンバットは、JSBBのマークの入ったものを使用すること。
14. 捕手は危険防止のため、レガーズ・プロテクター・マスク・ヘルメット・ファールカップを着用すること。準備投球時にもレガーズ・プロテクター・マスク・ヘルメットを着用すること。
 ※但し、指導者は不要とする。
15. 投手が変化球を投げることを禁止する。ペナルティーは「競技者必携」を参考とする。
16. 原則として全日本軟式野球連盟規定の「野球規則」を準用する。
17. グラウンドルールは主催連盟（練馬区軟式少年野球連盟）審判部の指示に従う。